

平成23年産米の相対取引価格(出荷業者)(速報)  
(平成24年3月)

(単位:円/玄米60kg)

産地	品種銘柄	地域区分	24年3月 ①	参考			
				24年2月 ②	対前月比 ①/②	23年3月 ③	対前年比 ①/③
北海道	きらら397		14,322	14,539	99%	11,327	126%
北海道	ななつぼし		14,368	14,454	99%	11,590	124%
青森	つがるロマン		13,613	13,591	100%	11,409	119%
青森	まっしぐら		13,593	13,408	101%	10,830	126%
岩手	ひとめぼれ		14,369	14,411	100%	12,292	117%
宮城	ひとめぼれ		14,540	14,828	98%	12,183	119%
秋田	あきたこまち		15,165	15,334	99%	12,287	123%
山形	はえぬき		14,539	14,348	101%	11,583	126%
福島	コシヒカリ	中通り	13,874	14,019	99%	12,675	109%
福島	コシヒカリ	会津	15,980	15,929	100%	-	-
福島	コシヒカリ	浜通り	13,923	-	-	-	-
福島	ひとめぼれ		13,772	13,746	100%	-	-
茨城	コシヒカリ		15,848	15,941	99%	13,190	120%
栃木	コシヒカリ		15,490	15,626	99%	12,544	123%
埼玉	彩のかがやき		14,128	14,300	99%	-	-
長野	コシヒカリ		16,019	16,102	99%	-	-
長野	あきたこまち		14,896	14,999	99%	-	-
新潟	コシヒカリ	一般	18,779	18,762	100%	16,363	115%
新潟	コシヒカリ	魚沼	23,931	-	-	21,625	111%

産地	品種銘柄	地域区分	24年3月 ①	参考			
				24年2月 ②	対前月比 ①/②	23年3月 ③	対前年比 ①/③
新潟	コシヒカリ	岩船	19,511	-	-	-	-
新潟	コシヒカリ	佐渡	19,477	-	-	16,844	116%
富山	コシヒカリ		16,222	16,369	99%	13,837	117%
石川	コシヒカリ		16,268	16,300	100%	13,483	121%
福井	コシヒカリ		16,011	16,031	100%	-	-
福井	ハナエチゼン		14,645	-	-	-	-
岐阜	コシヒカリ		15,660	15,588	100%	13,549	116%
滋賀	コシヒカリ		15,878	16,044	99%	12,988	122%
滋賀	キヌヒカリ		15,258	15,332	100%	11,384	134%
兵庫	コシヒカリ		15,864	15,821	100%	13,470	118%
鳥取	コシヒカリ		15,917	-	-	-	-
鳥取	ひとめぼれ		14,525	14,568	100%	12,035	121%
島根	コシヒカリ		15,912	15,909	100%	12,938	123%
広島	コシヒカリ		15,105	14,911	101%	12,686	119%
香川	ヒノヒカリ		14,662	14,649	100%	11,380	129%
福岡	ヒノヒカリ		15,092	14,369	105%	12,203	124%
熊本	ヒノヒカリ		15,057	15,053	100%	12,255	123%
大分	ヒノヒカリ		15,322	15,040	102%	-	-
全銘柄平均価格			15,303	15,327	100%	12,750	120%

資料:農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注:1)相対取引価格は、ア 全国出荷団体、イ 年間の玄米仕入数量が5,000トン以上の道県出荷団体等、ウ 年間の直接販売数量が5,000トン以上の出荷業者と卸売業者等の主食用の相対取引契約(数量と価格が決定した時点を基準としている。)の価格(運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格。)であり、その契約数量を用いて加重平均した価格である。

その際、新潟、長野、静岡以東(東日本)の産地品種銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西(西日本)の産地品種銘柄については受渡地を西日本としているものを加重平均している。

2)また、相対取引価格は、個々の契約数量に応じて設定される大口割引等の割引などが適用された価格であり、実際の引取状況に応じて等級及び付加価値等(栽培方法等)の価格調整が行われることがある。

3)産地品種銘柄は、ア 22年産の公表対象産地品種銘柄が存在した道府県における当該産地品種銘柄、又は、イ ア以外の道府県における22年産の検査数量の最も多かった1品種銘柄、のうち、月1,000トン以上の取引があったものである。

4)全銘柄平均価格は、報告対象産地品種銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均した価格である。

5)23年3月は22年産の価格である。